

校内書き初め会 & 書き初め展

1月8日、3学期最初の行事として、全学年一斉に校内書き初め会（1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆）を実施しました。冬休みに練習してきた字を真剣な顔で書いている子どもたちの姿が素敵でした。



<書き初めの由来>

「書き初め」は、平安時代の宮中行事が起源で、江戸時代に寺子屋の普及と共に広まったと言われています。明治時代から始まった学校教育にも取り入れられ、現代でも学校の恒例行事として実施されています。

年のはじめに「書き初め」をすることで、書(学業)の上達を願ったり、新しい年の目標に向かってスタートするという意味がこめられた日本の伝統文化のひとつです。

1月14日～15日、校内書き初め会で書いた作品を多目的教室に展示し、校内書き初め展を実施しました。子どもたちの作品から「今年も頑張るぞ!」という意気込みが感じられ、会場内が凜とした空気に包まれていました。

書き初め展



書き初め展の会場内に、令和7年度から新デザインとなる「神吉中学校の(新)制服」も展示されました。

子どもたちも、興味津々な様子で新デザインの制服を見ていました。また、書き初め展に来場された多くの方々にも見ていただくことができました。

令和7年度から新デザインによる
神吉中学校の新しい制服です。

昨年度より、地域や保護者の代表の方とともに(神吉中学校(新)制服検討委員会)が立ち上げられ、アンケート調査の実施や生徒によるワッペンとポスターのデザイン作成等、神吉地域の思いが凝って完成した制服です。



「ここからすくすく育て 神吉っ子」
神吉中学校区ユニット